

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2001-309946
(P2001-309946A)

(43)公開日 平成13年11月6日(2001.11.6)

(51)IntCl'

A 61 F 13/72

識別記号

F I

テーコート(参考)

A 61 F 13/16

300Z

審査請求 未請求 請求項の数1 頁面 (全2頁)

(21)出願番号

特願2000-169714(P2000-169714)

(22)出願日

平成12年5月1日(2000.5.1)

(71)出願人 599112799

鎌田 冷子

東京都江東区東砂6丁目14番3号110

(72)発明者 鎌田 冷子

東京都江東区東砂6丁目14番3号110

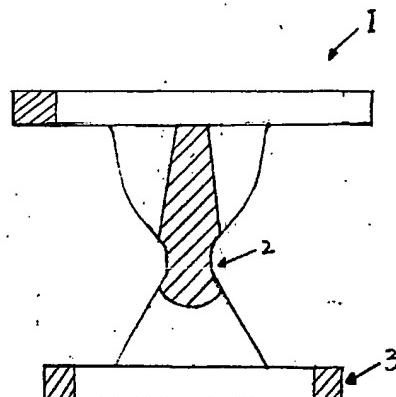
(54)【発明の名称】 看護用生理用ショーツ

(57)【要約】

【課題】出産時、又は何らかの理由で寝たままの状態でも体を動かさずに生理ナプキンを取り替えることができるようにすること。

【解決手段】生理用ショーツの両脇をはずして前後に分けることができるようになります。

内側



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】生理用ショーツの両脇が開閉できるようになっている着護用の生理用ショーツである。

【発明の詳細な説明】

【0001】【発明の属する技術分野】着護用生理ショーツの両脇が開閉できるようにするための製造方法に関する。

【0002】【従来の技術】従来の生理用ショーツは、本人がはいたり、脱いだりしなくてはならないのです。

【0003】【発明が解決しようとする課題】従来の生理用ショーツは、はいたり、脱いだりしなくてはならないという問題点があった。そのため出産後や寝たきり状態などの場合は不便です。そこで寝た状態でもナプキンを取り替えることができるようになります。

【0004】【課題を解決するための手段】上記の問題点を解決するために本発明は寝たままの状態でも生理用ショーツが開閉できるようにしました。両脇を切り離しているために前部分を前後にたわすことができるのです。また生理用ショーツのウエスト部分は伸縮する素材を利用する。ウエスト部分の前方にマジックテープ（登録商標）をつけるので固定できます。

【0005】【発明の実施の形態】本発明は生理用ショーツの両脇を切り離して前部分と後部分に分けたショーツである。股の部分はつながっています。後部分の中心から前部分にかけて内側は防水加工になっています。後部分からつながっているウエストのベルト部分は伸縮する素材でできている。この後部分から伸びているベルト*

*の先にマジックテープを付けて左右を重ねてとめる。前部分も同じようにベルトの先にマジックテープをつける。そして後ベルトのマジックテープ部分に直接付ける様にする。後ベルトの幅を広くすると出産後の下腹をひきしめる効果もあります。後ベルトの長さはだいたい90cmくらいとする。

【0006】【実施例】実施例について図面を参照して説明すると図1は着護用生理ショーツの平面図である。ショーツの内面の中心に幅約10cmの防水シート面をつける。後ベルトの右端は内面と外面にマジックテープをつけ、左端は外面につける。前部分のベルトは両端とも内面にマジックテープをつける。

【0007】【発明の効果】この発明によって寝たままの状態で生理ナプキンを取り替えることができる。これまで出産の時などはT字帯を使用していたがこれだとずれたりはずれたりしてシーツなどを汚したりしていたがこのショーツだと安定しているのです。心配がありません。また、後ベルトを締めることによって下腹を引き締める効果もあります。また、ほかの理由で寝たままの状態の人の着護用としても使いやすく便利です。

【図面の簡単な説明】

【図1】着護用生理用ショーツの平面図である。

【図2】着護用生理用ショーツの外側図である。

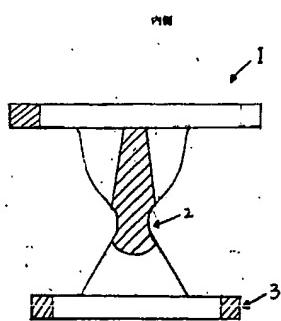
【符号の説明】

1 着護用生理用ショーツ

2 防水シート

3 マジックテープ

【図1】



【図2】

